

小児糖尿病理解して

患者・家族の会 教員向け研修会

岡山

1型糖尿病の子どもに理解を深めてもらうため、患者や家族でつくる岡山小児糖尿病協会は9日、初めて教職員対象の研修会を岡山市内で開いた。病気への理解不足から、学校園でつらい思いを抱く患者がいることから企画。約150人が病気の基礎知識や適切な対応を学んだ。

国内の糖尿病患者は9割超が肥満などによる2型糖尿病。1型は何らかの原因で膵臓の細胞が壊れ、血糖値を調節するインスリンを作れなくなる。発症は10万人に1〜2人。協会事務局の岡山赤十字病院によると県内の未成年患者は115人と多い。



1型糖尿病の基礎知識や患者への対応を学んだ研修会

だが、「水泳やマラソンなどの運動や食事制限はなく、部活動や修学旅行への参加も全く問題はない」と説明。「治療には学校全体の協力が不可欠」と呼び掛けた。

同協会によると、会員は「水泳の授業や注射に親の同席を求められる」「低血糖発作を抑えるために摂取するブドウ糖などが、間食と誤解される」といった悩みを抱えるという。県内では発作を懸念し、小学校で女子児童がプール利用を制限された例もあった。

(久岡広和)

日本舞踊を披露

岡山大生ら招待 福島の小中学生 支援へ感謝込め

東日本大震災の復興を援助する岡山大生らのボランティア団体の「おかやまバトン」の招きで来岡した福島市の子どもたちが9日、同大創立50周年記念館(岡山市北区津島中)で支援への感謝を込め、日本舞踊の発表会を開いた。

福島市で日本舞踊を習う小中学生11人は3日から県内で合宿し、おかやま桃太郎まつりへの参加や海水浴などを満喫。10日の最終日を前に、協力してくれた地域住民や企業関係者を招いた。ステージではピンクや緑色の鮮やかな着物をまとい、



練習の成果を披露する福島市の子どもたち

福島の民謡などに合わせて扇子や傘で優雅な舞を披露した。福島市立森合小5年菅野諭香さん(11)は

「いつも優しく気遣ってくれた岡山の人たちにお礼ができたかも」と笑顔だった。

踊りの合間には、現在の生活や復興への思いについて報告。「お父さんと離れて暮らし

ている」「今でも野菜や米作りを制限されている」「福島が大好き。早く明るく美しい福島に戻ってほしい」など話した。

(大江恵里奈)

岡山協立病院派遣、言語聴覚士が報告

(岡山市中区赤坂本町)後、理

震災被災地は スタッフ不足

東日本大震災で被災した福島県南相馬市の病院に岡山協立病院



被災地への医療支援の継続を訴え

況を報告した。植木や聴覚士も福島第北にあな合病院にカ月間滞事の機

言語聴覚士など、理

同居女性の娘へ性的虐待 男に懲役9年判

同居女性の娘に小学5年のころから7年間、性的虐待を繰り返したとして、準強姦罪に問われた県内在住の会社員小松原啓優被告(33)に、岡山地裁は9日、「人格を踏みにじ

る卑劣極まりない犯罪として懲役9年(求刑懲役12年)の判決を言い渡した。

判決理由で田尻克己裁判長は「未成年の被害女性は不安や不眠に悩み、精神的苦痛は計り知れぬさらな女性感情は平た

な舞を披露した。福島市立森合小5年菅野諭香さん(11)は

判決は小松原被告の娘に